

盲導犬センター施設における清掃ボランティアの実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、社会貢献活動の一環として、2003年秋から、社員のボランティアによる盲導犬センター施設の清掃活動を企画・実施しておりますが、昨11月11日、財団法人栃木盲導犬センター(理事長:中山慶恵子)の協力により、第9回目の清掃ボランティアを実施いたしました。
2. 盲導犬センターとは盲導犬を育成する施設のことで、現在、全国に9施設11ヶ所あります。各施設はそれぞれ独立した団体であり、寄付金等を主な収入源として運営されているものの、財政的には厳しく、施設の管理や来訪者の対応などの面でボランティアに頼らざるを得ない状況にあります。
3. こうした状況の下、当社としては、
 - (1) 社員のボランティア活動参加のきっかけ作りになること、
 - (2) 盲導犬や視覚障害者福祉への理解を深めること、
 - (3) 社内で行っている盲導犬育成募金の活性化に役立つこと、
 - (4) 盲導犬センター運営の一助となること、等を目的として本活動を実施しております。
4. 当日、社員らは、盲導犬センター施設の清掃や翌週行われるオープンデー(一般向けに盲導犬育成や視覚障害者福祉についてPRする催し)の準備のほか、当社の本社ビル、川崎LPガス基地および北関東支店に設置した募金箱で集められた「盲導犬育成募金」を同センターに贈呈しました。
5. 今回実施した清掃ボランティア活動の概要は次のとおりです。
 - (1) 実施日:2007年11月11日(日)
 - (2) 場所:栃木県宇都宮市福岡町1285(財団法人栃木盲導犬センターの施設)
 - (3) 活動内容:施設の清掃、オープンデーの準備および募金贈呈(33,700円)など
 - (4) 参加人員:15名(グループ社員およびその家族)

以上

● 【参考資料】当日の清掃ボランティアの様様(写真)



清掃作業の様様



盲導犬募金を贈呈する子どもたち